

アサヒロジ、外販対応の名古屋新拠点が4月竣工

Edited By LogisticsToday On 2016/02/22



アサヒビールグループのアサヒロジは4月1日、名古屋市南区で2万平方メートル(6000坪)の新物流拠点を竣工し、アサヒ飲料向けの配送センターとグループ外向け用途のハイブリッド拠点として運用を開始する。

新拠点は1万6500平方メートル(5000坪)の敷地に鉄骨造・3階建ての倉庫として建設したもので、1フロアの面積は6600平方メートル(2000坪)。1階に2か所、2階に1か所の事務所スペースを設け、庇部分は1650平方メートル(500坪)を確保した。

トラック待機スペースは17台分あり、北側に低床式、南側に高床式のトラック接車バースを配置。昇降設備は垂直搬送機と貨物用エレベーターをそれぞれ3基設置した。

現地は名古屋高速木場ICから2.9キロ、笠寺ICから2.8キロ、呼続ICから4キロと高速道路網へのアクセスに優れ、名鉄常滑線大江駅から徒歩10分と雇用も確保しやすい立地となっている。

■新拠点の概要

所在地:名古屋市南区加福町2-3-1

敷地面積:5000坪

構造・規模:鉄骨造・3階建て

延床面積:6000坪(2000坪×3層)

庇面積:500坪

事務所:140坪(1階に2か所、2階に1か所)

天井高:5.5メートル

床荷重:1.5トン(1平方メートルあたり)

昇降設備:垂直搬送機3基、貨物用EV3基

バース形態:低床式(南側)高床式(北側)

駐車台数:普通車40台、トラック待機場17台

前面道路:南側幅員9メートル

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/217179>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.